※令和５年度以降入学生用

学校番号	319

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ⅡBC 標準演習(L)	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ニュースタンダード　数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C　（数研出版）						
副教材等	数学Ⅱ・B・Cプレノート Half　（数研出版） 2026パックⅤ　共通テスト実践問題　数学Ⅱ・B・C　35（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　授業では入試問題を用い、自ら考え、考えを発表し、その解答へのプロセスを共有します。
・　前期はⅡBCの範囲を一単元ずつ復習し、知識や解答方法などを改めて身につけましょう。
・　各自が自らの力で解答に辿りつく力を養うため、前期前半は解答を配布しません。解答配布後もすぐに解答を見ることなく、自力で解答へのアプローチを見つける力を身につけましょう。
特に解答配布後は答えに辿りつければ良いのではなく、解答への道筋をきちんと考え説明できること重要になります。
・　後期からはプレノートやパックⅤなどで共通テスト本番と同じ形式の問題を利用し、式と式の間の考えを埋める力を養います。

2　学習の到達目標

・数学Ⅱ・B・Cの各分野について基本的な概念や原理・法則に関する理解を深め，事象を数学化したり、数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
・数学Ⅱ・B・Cの各分野について多面的に見たり考察する，論理的に考察し，表現するなど，事象を数学的に考察したり，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付ける。
・数学Ⅱ・B・Cの各分野について，数学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し，自己の問題解決の過程を振り返って考察を深める。また，協同的な活動の中で，他者の考えをもとに自己の理解を変容させて深い理解やより良い表現ができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅱ・B・Cの各分野についての基本的な概念や原理・法則に関する理解を深め,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学Ⅱ・B・Cの各分野について多面的に見たり考察する，論理的に考察し，表現するなど，事象を数学的に考察したり，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学Ⅱ・B・Cの各分野について，数学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し，自己の問題解決の過程を振り返って考察を深め，積極的に評価・改善したりしようとしている。また，協同的な活動の中で，他者の考えをもとに自己の理解を変容させて深い理解やよりよい表現に努めようとしている。

※令和５年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	式と証明	･式の計算，二項定理 ･恒等式･不等式	a: ･3 次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算をすることができる。 b: ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	複素数と方程式	・複素数と 2 次方程式の理論・ ・因数定理, 高次方程式	a: ・数を複素数まで拡張する意義を理解し, 複素数の四則計算をすることができる。 ・２次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し, 簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 b: ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 方程式を問題解決に活用することができ c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	図形と方程式	・点・直線・円 ・曲線と直線 ・軌跡と方程式	a: ・座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や 2 点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について，不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 b: ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	三角関数	三角関数(1) 三角関数(2)	a: ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や 2 倍角の公式, 三角関数の合成について理解している。 b: ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	指数対数関数	・指数・対数関数(1) ・指数・対数関数(2)	a: ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b: ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 ・2 つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	微分法・積分法	・導関数と接線 ・関数の値の変化 ・微分法の応用 ・不定積分・定積分 ・面積(1) ・面積(2)	a: ・微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 b: ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	数列	・等差・等比数列 ・種々の数列 ・漸化式, 数列の応用	a: ・等差数列や等比数列について理解し, それらの一般項や和を求めることができる。また, 条件から数列の一般項を決定できる。 ・和の記号Σの意味を理解し, 数列の和が求められる。 ・階差数列について理解し, それを利用して, もとの数列の一般項が求められる。 ・漸化式の意味を理解し, 具体的に項が求められる。 ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて, 等式や不等式, 整数の性質を証明できる。 b: ・初項から第 n 項までの和に着目して, 一般項を考察できる。 ・Σの性質を利用して, 和の計算を簡単に行うことができる。 ・漸化式を適切に変形して, 数列の特徴を考察することができる。 ・与えられた条件から a_n と a_{n+1} の間に成り立つ漸化式を求めて考察することができる。 ・:数列の一般項を推測し, それが正しいことの証明に数学的帰納法を活用することができる。 ・数学的帰納法で証明した命題について, 別の方法で証明してそれらを比較するなど, 多面的に考察することができる c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	ベクトル	・ベクトル ・ベクトルと平面図形 ・ベクトルと空間図形	a: ・ベクトルの演算の仕組み，加法，減法，実数倍，平行条件を理解し、1 次結合や成分表示，内積の性質の理解し計算で扱える。 ・線分の内分点，外分点，三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・線分上の点を，線分を s：(1－s)に内分する点として処理できる。 ・直線のベクトル方程式や法線ベクトルについて理解し,2 直線のなす角，円や円の接線のベクトル方程式を理解している。 b: ・点の座標とベクトルの成分の関係を,座標平面上の図形の問題に活用できる。 ・位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。 ・点が線分 AB 上に存在する条件を活用して，点 P の存在範囲を考察することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定 期 考 査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

	統計的な推測	・確率分布と統計的な推測	a: ・確率変数や確率分布について，用語の意味を理解している。 ・確率変数の期待値，分散，標準偏差が求められる。 ・確率変数の和の期待値などを公式を利用して求められる。 ・独立な確率変数の積の期待値，和の分散が求められる。 ・:二項分布や正規分布の性質や特徴について理解している。 ・母集団分布と大きさ 1 の無作為標本の確率分布が一致することを理解し，母平均，母標準偏差が求められる。 ・標本調査の考え方について理解している。 ・信頼区間の考え方を用いて，母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の意味を理解し，正規分布を用いた仮説検定や母平均に対する仮説検定ができる。 b: ・確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて，確率分布の特徴を考察することができる。 ・反復試行の結果を，二項分布を用いて考察することができる。 ・正規分布の特徴を理解し，さまざまな視点から捉えられる。 ・:母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 ・片側検定と両側検定の違いを理解し，適切に活用することができる。 c: 自身の発表に向けて問題への理解を深めている。解答内容をよりわかりやすく、より良い表現にしようと努めている。他者の発表の際に自分への理解へつなげようとしている。	確認テスト 定 期 考 査	定期考査 提出プリント	確認テスト 提出プリント 振り返りシート 観察

※令和 5 年度以降入学生用

後期	実践問題	Ⅱ・B・C の範囲	a: 各問題について使う公式を見つけて問題を解くことができる。 b: 穴埋め問題の式と式の間を埋めることができる。与えられた情報を整理して正答を導く道筋を考えることができる。 c: 解いた問題を振り返って，自分の力で問題を解けるようになるために，必要な学習を考えることができる。	提出プリント 定期考査	提出プリント 定期考査	提出プリント 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度